

二十億光年の記憶

谷川俊太郎

1 実存による孤独・不安

- ・ 宇宙に生まれた孤独
- ・ 一人で投げ出された不安

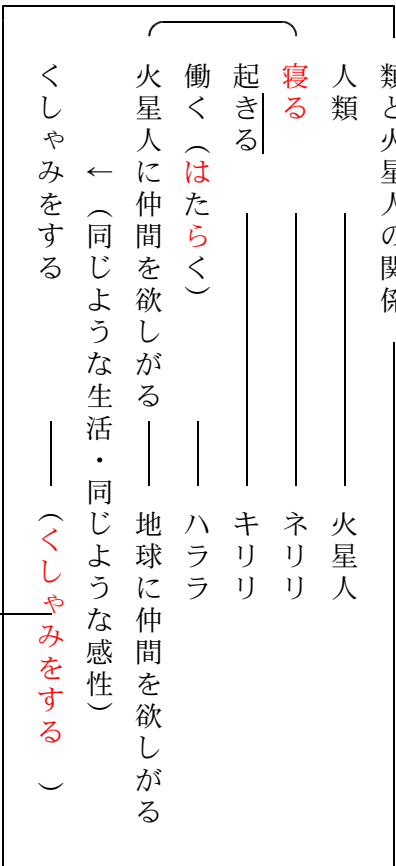
暗

← 同じような孤独・不安を持つ存在を推測

← (孤独な者としての呼びかけ || いてほしいという願望)

- ・ 火星人を仮想

類と火星人の関係



2 僕は思わずくしゃみをした

- ・ 人類のうわさ話をしているというひらめき

まとめ

この宇宙に生まれた者なら、自分と同様の孤独や不安を持ち、自分と同様に仲間を求めているはずだという願望に似た推測が、少し裏付けられたような感覚。

明